

## 編集後記

●多くのクラスで、課題を抱える子が複数名いることと思います。その子たちがマイナス方向で同調・増幅したり、別種類のかかわりが同時に求められたりすると、担任や教科担任一人で対応するのは大変なことです。子どもと子どもの「組み合わせの妙」でプラスに向かうことがあるという特集1の指摘、なるほどと思いました。新年度に向けて、先生方がクラス分けに悩み、力を注ぐ理由がよくわかります。(こ)

●「死にたい」気持ちは、打ち明ける側にとってはもちろんのこと、受け止める側にとっても覚悟のいるものです。SNSを通したり、「私なんていないほうがいい」のような言葉だったり、気持ちの打ち明けられ方もさまざまです。どんなかたちであれ子どもが「死にたい」気持ちを打ち明けたいと考えたときに、それをきちんと受け止めることができる「止まり木」の必要性を改めて考えました。(た)

## 次号のお知らせ

●特集1 コロナ禍の年度末、子どもたちに伝えたいメッセージ  
「不自由な2年間」を過ごして卒業・進級していく子どもたち。皆さんも例年にも増して強く伝えたいメッセージを抱えていることと思います。具体的な言葉、それを伝える流れやワークを紹介します。

●特集2 年度替わり、デジタルデータの引き継ぎ

●GIGAスクール構想の推進などにより、今後はデジタルデータで引き継ぎ資料等を管理することが増えていきます。デジタルデータを引き継ぐ際の工夫や注意点について考えます。



# 学校教育相談

2022年 令和4年 2月号

定価 820円 (本体 745円)

2022年2月1日発行

●発行所

●ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所


●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

## ほんの森掲示板

●現在、『保健室でのアンガーマネジメント—保健室に逃げ込む子の“心の応急処置”』という書籍の制作が進行しています。アンガーマネジメントの実践・研究をされている本田恵子先生(早稲田大学教授)の編著書です。第1部では、保健室でよく起こる場面を4コマまんがにし、対応のポイントを解説していきます。第2部の理論編では、アンガーマネジメントについての基礎的な知識を丁寧に解説。そして第3部の実践編では、3人の学校現場の先生が実践を紹介していただきます。発行になりましたら、ぜひよろしくお祈いします。

●本誌の2022年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

● **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索